

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：木村 昌司

<b>事業名</b> 一般国道336号 浦幌道路 <small>うらほろ</small>	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 北海道開発局
<b>起終点</b> 自：北海道十勝郡浦幌町豊北 至：北海道十勝郡浦幌町字昆布刈石 <small>とがち うらほろ とよきた とがる うらほろ</small>	<b>延長</b> 13.1 km	
<b>事業概要</b> 一般国道336号は、浦河町から、えりも町を経由して、釧路市に至る約150kmの幹線道路である。浦幌道路は、現道等における大型車のすれ違い困難区間の解消、農林水産品流通の利便性向上、重要港湾へのアクセス向上など地域の流通や産業の振興に大きく寄与することを目的とした延長13.1kmの事業である。		
H4年度事業化	H一年度都市計画決定	H4年度用地着手
H4年度工事着手		
<b>全体事業費</b>	約64億円	<b>事業進捗率</b> 81%
<b>計画交通量</b>	2,200台/日	
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 6.7	総費用 (残事業)/ (事業全体) 20/123億円 (事業費：10/87億円 維持管理費：10/37億円)
	総便益 (残事業)/ (事業全体) 135/237億円 (走行時間短縮便益：124/218億円 走行費用減少便益：9/17億円 交通事故減少便益：2/3億円)	基準年 平成18年
<b>感度分析の結果</b> 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.1(交通量+10%) B/C=1.7(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.8(事業費+10%) B/C=2.1(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.8(事業期間+20%) B/C=2.1(事業期間-20%)		
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・物流効率化の支援（農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる） ・物流効率化の支援（重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる） 他7項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 酪農や製造業、観光、流通などの地域産業の振興、地域住民の福祉向上、行政の効率化などを推進するため、浦幌町など地元自治体などで構成する期成会等より事業促進の要望を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 浦幌道路は、平成14年までに9.4kmを供用している。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成4年度より工事着手して、設計進捗率100%、事業進捗率81%となっている。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代前半の事業完了を予定している。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 土工量の縮減等によりコスト縮減を図っている。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針の決定理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。